

New Crown 第 15 回 Lessons

Lesson 15-1 : 過去進行形 肯定文&否定文

過去進行形とは「勉強していた」「食べていた」といった、

現在進行形の過去形

(ある動作が、過去のある瞬間行われていたといった「動作が一時的なもの」)

です。基本的な形は、現在進行形と同じ。つまり肯定文なら“主語 + be 動詞 + 一般動詞の原形 ing”、否定文なら“主語 + be 動詞 not + 一般動詞の原形 ing”なのですが、be 動詞は過去形になりますので注意してください。

【過去進行形の肯定文：基本の形】

主語 + **was** + 一般動詞の原形 **ing** + ~.
were

(「主語」は「一般動詞」していました)

- <例> I was studying English. (私は英語を勉強していました)
He was playing basketball. (彼はバスケをしていました)
We were eating pizza. (私たちはピザを食べていました)

【過去進行形の否定文：基本の形】

主語 + **was not (wasn't)** + 一般動詞の原形 **ing** + ~.
were not (weren't)

(「主語」は「一般動詞」していませんでした)

- <例> I was not (wasn't) studying English. (私は英語を勉強していませんでした)
He was not (wasn't) playing basketball. (彼はバスケをしていませんでした)
We were not (weren't) eating pizza. (私たちはピザを食べていませんでした)

【作り方】

- ステップ 1. 現在進行形の文を作る。
ステップ 2. be 動詞を過去形にする。

<例 1 : 私は英語を勉強していました>

ステップ 1. 現在進行形の文を作る。 → 「私は英語を勉強しています」

I am studying English.

ステップ 2. be 動詞を過去形にする。

I was studying English.

<例 2 : 彼はバスケットをしていませんでした>

ステップ 1. 現在進行形の文を作る。 → 「彼はバスケットをしていません」

He is not playing basketball.

ステップ 2. be 動詞を過去形にする。

He was not (wasn't) playing basketball.

Lesson 15-2 : 様々なフレーズ⑱

1. have a problem with ○○ = ○○ に (で / と) 問題がある

<例> I have a problem with my work. <私は、私の仕事で問題があります>

〔補足説明〕

○○の部分には「こと」や「モノ」だけでなく「人」も入れることが可能。

<例> I have a problem with my teacher. <私は、私の先生と問題があります>

2. work it out = どうか (それを) 解決する

<例> We had a problem, but we worked it out.

<私たちには問題ありましたが、私たちはどうかそれを解決しました>

〔補足説明〕

「それは、なんとかなった」という場合、it worked out と、主語に it を持つてくることも可能。

3. **Sounds ○○ = ○○**ですね (○○には形容詞が入る)

Sounds like △△ = △△のようですね / △△のように聞こえます (△△には名詞が入る)

<例> A: Let's go to Nagoya tomorrow. B: Sounds good.

<A: 明日名古屋に行きましょう。 B: 良いですね>

[補足説明]

本来は That / It sounds ~の形だが That / It が省略されて Sounds ~. の形でよく使われる。sound には「音 (名詞)」という意味もあるが、ここでは「音がする (一般動詞)」という意味で使われている。主語が That / It なので、sounds と最後に 3 人称・単数・現在形の s がついている。

Sounds ○○の場合、○○には形容詞が入り、Sounds like △△ の場合は、△△に名詞が入る (この like は「~のよう」という前置詞と考えると、前置詞の後は「名詞の形が入る」と理解できる)。

<例> Sounds good. (良いですね)

Sounds like a good idea. (良いアイディアのようですね)

ただし、fun の場合「形容詞 (楽しい / おもしろい)」と「名詞 (楽しみ / 面白いこと)」の両方の形があるため、Sounds fun. / Sounds like fun. の両方とも使える。

4. **at that time = その時**

<例> I was reading a book at that time. <私は、その時本を読んでいました>

[補足説明]

at that time は、過去のある一点について説明する時によく使われる (then と同じような使い方となる)。また、文頭で使われることもある。

<例> 私はその時本を読んでいました

I was reading a book at that time.

I was reading a book then.

At that time, I was reading a book.

5. At ○○ last night, = 昨晚 (昨夜) の○○時

<例> At eight last night, I was watching TV. <昨晚の8時、私はテレビを見ていました>

〔補足説明〕

At ○○ last night, は、主に文頭で用いられるが、文の最後に使用されることもある。

<例> I was watching TV at eight last night.

Lesson 15-3 : 過去進行形 疑問文

過去進行形の疑問文も、基本的には現在進行形の疑問文と同じになります。そのため、現在進行形の疑問文を作り、be 動詞を過去形にすれば完成となります。

【過去進行形の疑問文：基本の形】

be 動詞の過去形 + 主語 + 一般動詞の原形 ing + ~?

(「主語」は「一般動詞」していましたか)

<例> Were you watching TV? (あなたはテレビを見ていたのですか)

Was she talking to your mother? (彼女は、あなたの母親と話していたのですか)

【作り方】

ステップ1：現在進行形の疑問文を作る。

ステップ2：be 動詞を過去形にする。

<例：あなたはテレビを見ていたのですか>

ステップ1：現在進行形の疑問文を作る。→ あなたはテレビを見ていますか。

Are you watching TV?

ステップ2：be 動詞を過去形にする。

Were you watching TV?

【疑問文の答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の2種類。

Yes, 代名詞 be 動詞.

No, 代名詞 *be 動詞 not.

*wasn't / weren't と be 動詞 + not の短縮形を使うのが一般的。

be 動詞で聞いているので be 動詞 で答える。

do / does / did で答えないように注意。

<例> Were you studying English with Ben?

Yes, I did. =×

<例> Were you watching TV?

はい → Yes, I was. いいえ → No, I wasn't. (No, I was not.)

そして、過去進行形の疑問文に、What や Where といった疑問詞を足す場合は、疑問詞を疑問文の前に足してあげれば OK です。

【疑問詞＋過去進行形の疑問文：基本の形】

疑問詞 + be 動詞の過去形 + 主語 + 一般動詞の原形 ing + ～?

<例> What were you doing? — I was doing my homework.

(あなたは何をしていたのですか。 — 私は、私の宿題をしていました)

Who was he talking to? — He was talking to Mr. Fukuda.

(彼は誰と話しているのですか。 — 彼は福田さんと話しています)

【作り方】

ステップ1：疑問詞の部分（何、など）に同じ種類の適当な単語を入れて疑問文を作る。

ステップ2：入れた“適当な単語”を「疑問詞」に戻す。

ステップ3：疑問詞を文頭に持ってくる。

<例：あなたは何をしていたのですか>

ステップ1：疑問詞の部分（何）に同じ種類の適当な単語を入れて肯定文を作る。

→ 「あなたは、あなたの宿題をしていたのですか」

Were you doing your homework?

ステップ2：入れた“適当な単語”を「疑問詞」に戻す。

Were you doing what?

ステップ3：疑問詞を文頭に持ってくる。

What were you doing?

Lesson 15-4：様々なフレーズ⑱

1. brush ○○'s teeth = ○○の歯を磨く

<例> I want to brush my teeth. <私は、私の歯を磨きたいです>

【補足説明】

brush は「磨く」という意味。teeth は「歯」の複数形。単数形は tooth となる。

2. still (副詞) = まだ / 今でも / それでも

<例> They still live in Saitama. <彼らはまだ埼玉に住んでいます>

〔補足説明〕

still は、also / sometimes などの副詞と同じように、

<be 動詞の肯定文 → be 動詞の後に足される>

She is still teaching English. (彼女はまだ英語を教えています)

<一般動詞の肯定文 → 一般動詞の後に足される>

He still plays baseball. (彼は今でも野球をしています)

【New】

<can などの助動詞の肯定文 → 助動詞の後に足される>

Kenta can still come to the party. (ケンタは、それでもパーティーに来ることができます)

3. at the same time = 同じ時に / 同時に

<例> I can't watch TV and do my homework at the same time.

<私は、テレビを見ながら私の宿題を同時にすることはできません>

〔補足説明〕

at the same time は、副詞句。前の文とのつながりによっては、At the same time, が文頭で使われることもある。

<例> I was ¹young. At the same time, I didn't have ²much money.

(私は若かったです。同時に、私にはたくさんのお金はありませんでした)

¹young = 若い

²much = (不可算名詞の時に使われる) たくさんの

4. anymore (否定文・疑問文で用いられる) = 今では / 今はもう / もはや

<例> He doesn't live in Japan anymore. <彼は、今はもう日本に住んでいません>

5. at (age) ○○ = ○○歳の時 (○○には数字が入る)

<例> At age 20, he went to America. <20歳の時、彼はアメリカに行きました>

〔補足説明〕

at age ○○ という表現だけでなく、at age of ○○ という表現も使われる。また、at ○○ だけ使われることもある。

<例> 20歳の時、彼はアメリカに行きました。

At age 20, he went to America.

At 20, he went to America.

At the age of 20, he went to America.